

☆隊員さんの広場☆



南中
寺町 文雄 さん

「はげまし隊に入ってみませんか」のお誘いから2年目に入りました。1年目の初支援日、不安な気持ちで教室に入ると、子ども達の「熱気」に圧倒され、久しぶりに緊張したことを記憶しています。2年目に入っても、100点満点とはいきませんが、自分流に支援を続けています。先日の授業でこんなことがありました。支援終了後に、ある生徒さんが「はげまし隊の先生！さっき教えてもらった文字式の問題、よーくわかりました。ありがとうございます。」とお礼の言葉を返してくれました。「隊員冥利につきる」とはこのことでしょうか。これから悲喜交々な出来事があるかも知れませんが、子ども達の成長を願い、緊張感をもって活動を続けていきたいと考えています。

土々呂中ははげまし隊発足時から参加させていただいています。自分がどれだけの貢献ができたかは疑問ですが、確実に感じるの是指導されている先生方の素晴らしさに頭が下がりますし、常に丁寧なご指導に感心させられています。常に他から注視されての授業はどれだけ重圧感を感じられるのかと思うと、相当のストレスをおかけしているのかなと心配にならざるを得ません。

隊員として一番充実感があるのは「はげましタイム」と称して個別に指導する時間がありますが、そこでの生徒さんとのやり取りです。数は少ないのですが、回を重ねることによりお互いに先生と生徒にはない親近感が生まれ、会話ができるようになったことです。地域内で出会った時の笑顔の挨拶が何よりです。これからも頑張りたいと思います。



土々呂中
佐藤 伸太郎 さん

Tea Time ~ちょっといい話~



延岡市立西階中学校 校長
甲斐 義弘

豊間中学校からの手紙

昨年の11月始めに、いわき市立豊間(とよま)中学校の校長先生よりお手紙を頂きました。「つなごう・延岡いわき支援プロジェクト」を通して、西階中の生徒の絵手紙等の作品を送って頂き、ありがとうございましたというお礼と、豊間中の文化祭でその作品を展示し保護者の皆さん、地域の皆さんにも見ていただいたところ、作品を見た保護者の方から「思いを寄せていただいて、ありがたいですね。」という声があり、東日本大震災から5年半が過ぎましたが、今なお被災地を心にとめ、温かい気持ちを寄せてくださることに深く感謝しますということが書かれていました。

豊間中は、震災時の津波で校舎が使えなくなり、小学校に間借りし学習をしているそうです。現在、新たな校舎の建築が進んでおり、2学期には新校舎で授業が再開できるそうです。

事務局長のひとこと ~生涯学習実践交流会で発表して~

先日、生涯学習実践交流会が宮崎で行われ、はげまし隊の実践発表をしました。参加者のアンケートに「地域の方との連携がスムーズにっており、人材確保は他薦が良いと思った」「はげまし隊活動による生きがいづくりができていて、とても良い」などがありました。全体を通じて、はげまし隊活動は生涯教育の実践としてとても優れていると確信しました。子どもたちの成長への寄与と隊員さん方の健康長寿に貢献していることが何よりだと、うれしい気持ちになった交流会でした。